

クロベンケイガニ (黒弁慶蟹)

節足動物門甲殻綱十脚目イワガニ科に属するカニ。河口近くの湿地、草原、水田などにすむ。深い穴を掘るため、水田の水漏れをおこし、またイネを食害したり倒したりするなどから、一時は防除が問題となった。

分布

東京湾以南の太平洋岸、小笠原諸島、山形県以南の日本海沿岸、朝鮮半島、中国北部、台湾に分布する。

形態

甲は四角形で、甲幅4センチメートルに達する。甲域がはっきりしており、とくに胃域と心域は明瞭。眼窩(がんか)外歯の後方にはごく浅いくぼみがあるのみである。

生態

河口に近い湿地から河川の護岸、水田などに生息する。雑食性。交尾、産卵は5月～8月。約3週間の抱卵期間の後、幼生は海に放たれプランクトン生活を送り、ある程度育つと河口に戻って稚ガニとなる。千葉県¹の要保護生物(D)

河口近くの河川敷などに穴を掘ってすみ、ほとんど水に入らない。

陸上生活をするクロベンケイガニやアカテガニは変わった呼吸法を行う。腹側の鋏脚付け根から水を体内に取り入れ、鰓と房状の呼吸補助器官でガス交換をする。その水を口の上にある孔からを排出する。排出された水は、溝に沿って左右に広がったあと、酸素がとけ込みやすいような網目構造の「類」の上を流れ落ちる。

巣穴を掘りかえすと、ミミズなど餌になりそうなものもかなり出てくる。カニが掘っている途中に捕食することもありそうである。また、ミミズが穴の中に迷い込んだりもしそうに思える。

日差しが強くなると穴の中でじっとしているが、涼しくなると水交換と索餌のために動き回る。

クロベンケイガニ



分類

界:	動物界 Animalia
門:	節足動物門 Arthropoda
亜門:	甲殻亜門 Crustacea
綱:	エビ綱(軟甲綱) Malacostraca
目:	エビ目(十脚目) Decapoda
亜目:	エビ亜目(抱卵亜目) Pleocyemata
下目:	カニ下目(短尾下目) Brachyura
群:	方頭群 Brachyrhyncha
上科:	イワガニ上科 Grapsoidea
科:	イワガニ科 Grapsidae
亜科:	ベンケイガニ亜科 Sesarinae
属:	ベンケイガニ属 Sesarmops
種:	クロベンケイガニ

学名

Holometopus dehaani
(H.Milne Edwards)

和名

クロベンケイガニ(黒弁慶蟹)

英名

クロベンケイガニ												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
繁殖期							—————					
出現時期				—————								
出現時期(東京都)				—————								

